



# 七里小だより

## 冬休み号

さいたま市立七里小学校

令和2年12月25日

### 「すべては子どもたちのために」

教頭 丸山 謙一

寒さが一段と厳しくなり、冬本番の年末を迎えましたが、皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。96日間の長い2学期を本日無事に終了することができました。これもひとえに保護者の皆様をはじめ、地域や関係団体の皆様による日々のお力添えの賜物と感謝しております。本当にありがとうございました。

いま、長かったこの96日間を振り返りますと、これまでになかったことの連続だったと感じております。お盆が開けてすぐの8月17日に始業式が始まりました。16日間という短い夏休みでしたが、学校には元気な子どもたちの笑顔があふれていました。また、運動会では、実施方法について教職員で検討に検討を重ねた結果、例年より規模は縮小したものの、子どもたちの笑顔があふれる行事とすることができました。上級生は、応援団や係活動でリーダーとしての姿を示すことを心掛け、下級生はその姿を見て「すごい」「かっこいい」と、憧れや感動の気持ちを抱くことができました。「すべては子どもたちのために」を合言葉としてきた私たち教職員にとっても、大変心に残る行事とすることができました。さらに、七小子ども祭りでは、1年生と2年生、4年生と5年生、3年生と6年生がペアとなり、2学年間で互いの模擬店を行き来する体制で実施しました。通常であれば、学校公開として、保護者や地域の皆様にも参加していただき、大盛況となる行事ですが、制限された環境の中、子どもたちがみんなで考え、話し合い、協力して準備に取り組んだ結果、楽しいイベントに仕上げることができました。**(詳しくは七小 Web ページ七里っ子 News をご覧ください。)**

もちろん、例年のような行事等ができないことに対し、子ども達には、残念な気持ちや悔しさ、悲しさや寂しさ、不安や不満の気持ちがあったはずですが、それでも、七里っ子たちは、この状況を受け止め、理解し、自分たちにできることを頑張ることができました。本当に立派だと思います。

このように、子どもたちが頑張り成長できたのは、やはり保護者や地域の皆様の支えがあったからこそです。授業参観や学校公開の実施が制限される中、校内持久走記録会を行い、たくさんの保護者の皆様にご参観いただきましたが、その時間を使ってPTA環境保健部の方には、教室の扇風機そうじをしていただきました。広報部の方も子どもたちの生き生きした姿を取材していただきました。また、全学年部の方々も、寒い中にも関わらず、テトラパック・ベルマーク回収を、土曜授業の際には、おやじの会(N.O.A.)の皆様があいさつ運動に取り組んでいただきました。さらに、飼育小屋と南・北校舎をつなぐスノコをキレイにするためにペンキ塗りをしてくださいました。防犯ボランティアの皆様には、この長かった2学期も毎日登下校を見守っていただき、子どもたちの安全・安心を確保していただきました。本当にありがとうございました。学校・家庭・地域が一体となって「すべては子どもたちのために」を具現化できた証と感謝するばかりです。

本日、子どもたちは2学期の取組のまとめとして、通知表を持ち帰ります。是非、お子様の頑張りを認め、褒めてあげてください。そして、これから頑張っていくことについて話し合っただけだと思います。冬休みは、新型コロナウイルス感染症対策として、ご家庭で過ごされる方も多いと思います。今年の漢字として「密」が選ばれましたが、是非家族でお話をたくさんしたり、親子読書を続けてみたり、また、「すくすく のびのび 子どもの生活習慣向上キャンペーン」(24日家庭数配付)に取り組んでみたりと、『ステイホーム』を工夫して、心のつながりを**「密」(ギューギューでモ一最高な冬休み)**にさせていただきたいと思っております。

それでは、よい年をお迎えください。

赤い羽根共同募金にご協力いただき、合計4,546円を振込にて募金いたしました。ご協力ありがとうございました。